主題：ノア、ダニエル、ヨブ――
命の路線において勝利を得る命を生き、神のエコノミーを完成する模範

メッセージ　17

ヨブ（4）

神の目的のために神を得て神によって造り変えられる

聖書：ヨブ 42:1-6．Ⅱコリント 4:10-12, 16-18

Ⅰ．神がヨブに現れることで、ヨブは神を見て、彼の個人的な経験と自分を忌み嫌うことで神を得ました――ヨブ 38:1-3．42:1-6：

Ａ．神がヨブを対処するすべてにおいて、神の意図はヨブを減少させて無とし、しかも彼の存在を維持し（2:6）、神が時間をかけてご自身をヨブの中に分け与えることでした。神はただ一つの事、わたしたちの中に造り込まれることを顧慮しています。

Ｂ．神が彼の民を対処する目的は、彼の民が彼を得て、彼にあずかり、彼を所有し、他のすべてのまさって彼をさらに享受して、彼らの享受が完全な程度にまで達し、彼らが新エルサレムになるのを、彼が願っていることです――ピリピ 3:8-9．啓 21:2。

Ⅱ．神を見ることは神を得て神によって造り変えられることと等しいのです。神を得るとは神の要素、神の命、神の性質において神を受けることです――Ⅱコリント 3:16, 18：

Ａ．神を見るためには、わたしたちの霊を活用しなければなりません――エペソ 1:17-18．3:16-17．Ⅰコリント 2:9-16．Ⅱコリント 4:13：

１．わたしたちは霊の中で彼を見れば見るほど、ますます彼のすべての成分をわたしたちの内なる供給として内側に受け入れます―― 16-18 節。

２．わたしたちは苦難のただ中で自分の霊に注意し、主をわたしたちの住まい、十分なことの秘訣としなければなりません―― 2:13．7:5-6．マラキ 2:15-16．詩 91:1．ピリピ 4:11-13．詩 90:1-11．31:20．イザヤ 32:2。

Ｂ．神を見るためには、わたしたちの心を対処しなければなりません――マタイ 5:8．13:18-23：

１．わたしたちは神の聖なる言葉で再構成され、神の言葉によって指示され、統治され、支配され、管理されることによって、思いの霊の中で新しくされなければなりません――エペソ 4:23．申 17:18-20。

２．わたしたちは主の愛で火が付けられ、彼の家に対する熱心として感情が彼で満たされなければなりません――Ⅱコリント 5:14．Ⅱテモテ 1:6-7．ヨハネ 2:17．マルコ 12:30。

３．わたしたちは意志がキリストによって服従させられ、苦難を通してキリストをもって造り変えられ、キリストの頭首権に服従しなければなりません――ピリピ 2:13．参照、雅 4:1, 4．7:4 前半, 5。

４．わたしたちはキリストの無代価の、清め、純粋にする血によって正しい純粋な良心を維持しなければなりません――使徒 24:16．Ⅰテモテ 3:9．ヘブル 9:14．10:22。

Ⅲ．造り変えはわたしたちを一つの形、古い人の形から別の形、新しい人の形に移します。主はこれを、キリストの死の殺しによって完成します――Ⅱコリント 4:10-12, 16-18：

Ａ．Ⅱコリント第 4 章 10 節でパウロは、絶えずわたしたちの体にイエスの致死力が働

いていると言います。「致死力」とは殺しを意味します。キリストの死がわたしたちを殺すのです――Ⅰコリント 15:31, 36．ヨハネ 12:24-26．Ⅱコリント 1:8-9。

B．キリストの死は複合の霊の中にあります。その霊はキリストの死とその効果の適用です――出 30:22-25．ローマ 8:13。

C．クリスチャン生活は、絶えず複合の霊による殺しの下にある生活です。この日ごとの殺しは内住の霊によって、殺す武器としての環境をもって遂行されます：

1．わたしたちの内側でのその霊の働きは、わたしたちのために新しい存在を構成しますが、外側でのその霊の働きは、環境を通してわたしたちの天然の存在のあらゆる面を壊します。

2．わたしたちが生まれつき何であるかは何の意味もありません。その霊がわたしたちの内側で構成するものだけに価値があります――参照、エレミヤ 48:11。

3．わたしたちは活動する霊と協力し、神がわたしたちのために案配した環境を受け入れるべきです――ピリピ 4:12．エペソ 3:1．4:1．6:20．Ⅰコリント 7:24。

D．神の神聖な主権ある案配の下で、キリストの死の殺しを通してすべてが共に働いてわたしたちの益となり、わたしたちを造り変えます――ローマ 8:28-29．参照、詩 31:15 前半：

1．わたしたちは神に不平を言うかもしれませんが、わたしたちの不平は最上の祈り、神を最も喜ばせる祈りとなるかもしれません。わたしたちが不平を言っているとき、神は喜んでいます。なぜなら彼は、すべてを共に働かせて益とし、わたしたちが彼の長子のかたちに同形化されるからです――参照、詩第 18 篇, 主題。

2．わたしたちは神がどのような祈りを願っているのかわからず、自分が感じる負担にしたがって、神の御子のかたちに同形化されるためにどのように祈るのか、はっきりしません。ですから、わたしたちはうめき、わたしたちのうめきの中で、その霊はわたしたちのためにとりなします――ローマ 8:23, 26．参照、歴代下 20:12．列王上 8:48。

Ⅳ．務めは啓示プラス苦難の結果です。わたしたちが見たものが、苦難を通してわたしたちの中に造り込まれます。ですから、わたしたちは自分であるものを供給します：

A．患難は甘い訪れであり、キリストのすべての豊富を伴う恵みの受肉です。恵みはおもに患難の形でわたしたちを訪れます――Ⅱコリント 12:7-10。

B．患難を通して、わたしたちの天然の存在に対するキリストの十字架の殺す効果が聖霊によってわたしたちに適用され、復活の神がご自身をわたしたちに加える道を造ります―― 1:8-9．4:16-18。

C．患難は忍耐を、忍耐は練達の資質、すなわち、患難とテストを耐え忍び経験した結果である練達した資質、あるいは特質を生み出します――ローマ 5:3-4。

Ⅴ．神は愛としてのご自身を、聖霊を伴ってわたしたちの心の中に注ぎました。聖霊は、内側の動機づける力としてわたしたちに与えられました。それはわたしたちが、すべての患難の中で勝ち得て余りがあるようになるためです。ですから、わたしたちがどのような患難にも耐えるとき、恥をかかせられることはなく、キリストを生き彼を大きく表現します――5 節．8:31-39．ピリピ 1:19-21 前半。

© 2005 Living Stream Ministry